

**製品名: 嗅覚受容体 51B2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15242**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	38kDa

**抗原情報**

遺伝子名	OR51B2
別名	OR51B2; OR51B1P; Olfactory receptor 51B2; Odorant receptor HOR5'beta3; Olfactory receptor 51B1
遺伝子 ID	79345.0
SwissProt ID	Q9Y5P1
免疫原	抗血清はヒト OR51B2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 196-245

**背景**

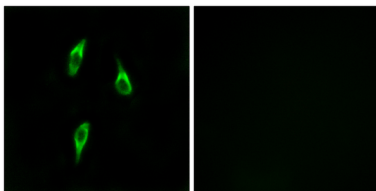
嗅覚受容体は鼻腔内の嗅覚分子と相互作用し、嗅覚の知覚を引き起こす神経反応を引き起こします。嗅覚受容体タンパク質は、単一

のコーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーに属します。嗅覚受容体は、多くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と 7 つの膜貫通ドメイン構造を共有し、嗅覚シグナルの認識と G タンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大のファミリーです。この生物の嗅覚受容体遺伝子およびタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。この嗅覚受容体遺伝子は分離擬遺伝子であり、一部の個体は機能的な嗅覚受容体をコードする対立遺伝子を持ち、他の個体は機能：嗅覚受容体をコードする対立遺伝子を持ちます。類似性： G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。

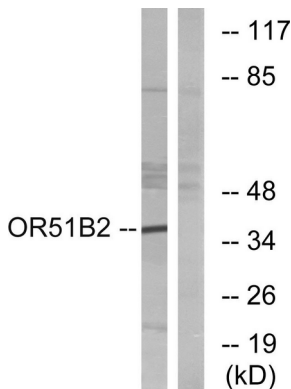
## 研究分野

嗅覚伝達;

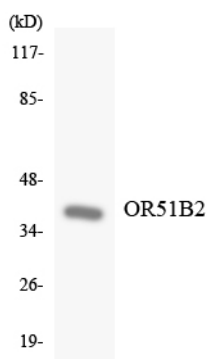
## 画像データ



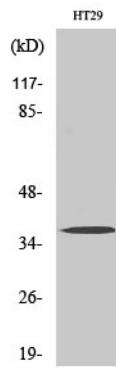
OR51B2 抗体を用いた LOVO 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



OR51B2 抗体を用いた HT-29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



OR51B2 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



嗅覚受容体 51B2 ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析